生活者ネットワーク議会報告
# わくわく通信 NO. 170

2021年10月18日発行　生活者ネットワーク
発行責任者　西のなお美
〒183－0023　府中市宮町2-15-1 柏屋ビル１Ｆ
Tel 042-360-4443　　fax 042-360-4462
Eメール fuchu-snet@ric.hi-ho.ne.jp
ホームページ http://fuchu.seikatsusha.me/
西のなお美　http://nishino.seikatsusha.me
奥村さち子　http://okumura.seikatsusha.me

# 中学生では17人に1人
# 「ヤングケアラー」への支援を

西の なお美
一般質問

**ヤングケアラーとは、本来大人が担うとされている家事や家族の世話を日常的に行なっている子どものことです。ケアに時間をとられ、部活や学習ができず、進学や将来に大きな影響が及ぶことが問題化しています。**

3年前の一般質問で、実態調査を求めましたが市としての調査は行なわれず、実態は把握されていませんでした。

今年春に国が発表した全国調査の結果では、中学生の17人に1人がヤングケアラーであることがわかりました。この結果を受けて市の認識を聞いたところ、「子どもたちが相談したくてもできない実情が明らかになった」との答弁でした。

子育て支援課で子どもからの相談や家族への支援方針などを関係機関と情報共有しているとのことでした。3年前はケアを受ける家族と同じ高齢者福祉や障害者福祉の部署が中心的に関わっていましたが、現在は子育て支援課が対応しており、子どもの気持ちを大切にする支援が期待されます。

外国にルーツがある子どもなど、日本語が不自由な家族の通訳を行なう子どももヤングケアラーです。市として家族にどのような支援を行なうのか聞いたところ、「書類の記入などは読み書きができる子どもにさせている」という答えでした。この対応では子どもの負担は減らず、必要な学びなどは後回しになり、ヤングケアラー支援の視点がなく問題です。家族が通訳などを直接使える仕組みを市が作るべきと主張しました。

岡山県総社市では、ケアラー支援条例を制定しました。市民に広く知らせることができ、行政の役割も明確になったということです。また、神戸市では行政の縦割りを超えて一元的に支援を行なうために「こども・若者ケアラー支援窓口」を作り、ヤングケアラーに特化した相談を受けられるようにしました。

府中市に対しては、まず当事者である子どもたちの状況やＳＯＳに周りの大人がいち早く気づき、支援を一体的に行なえる体制づくりを要望しました。

## 撤退したユニクロ跡地に公共施設？！

### 補正予算に反対しました

保健センターにある「子育て世帯包括支援センター」が、フォーリス3階のユニクロ撤退後のフロアに移転するための補正予算が提案されました。月額約700万円、年間約8,000万円の賃料、20年間16億円の契約です。なぜ補正予算を組まなければならなかったのか聞いたところ、「商業施設側からの申し出により、フロアを空けたままにしておくことはできないとのことでスピード感をもって移転を決めた」との答弁がありました。移転後の保健センターの空きスペースの活用はまだ決まっていません。公共施設マネジメント方針にある「施設の数や延床面積の総量を抑制する」という主旨に反します。さらに契約期間20年というのは社会状況の変化を考えると長すぎるのではないか、短期での契約について精査されたのか、質疑では明らかになりませんでした。

市の公共事業として行なうのであれば、内容を明確にして説明すべきです。この補正予算については市民への説明責任を果たしていないことから反対しました。

## 自治体によって差がある幼保無償化
## 朝鮮幼稚園も無償化に！

2年前に幼児教育保育の無償化が始まりましたが、朝鮮幼稚園など外国人学校の幼保施設は対象外でした。国は今年度、基準を改め、自治体が認めれば使える補助金制度を作り、導入する近隣市も増えてきました。しかし市によっては要綱で、その施設がある自治体が認めなければ無償化にならないという文言が入っている場合もあります。

府中市の今後の対応を確認したところ「施設が所在する市町村が認可していない施設も無償化の対象とするように準備を進めている」との前向きな答弁が保育支援課からありました。

朝鮮学校はいまだに高校の無償化からも除外されています。どんな子どもも差別されることなく自由に学ぶ権利が保障されるべきです。幼保無償化とともに朝鮮学校の無償化も引き続き求めていきたいと思います。

# 9月議会より

奥村 さち子
一般質問

## ひきこもり状態に悩む若者と家族への支援の充実を

若者がひきこもり状態になり、苦悩している当事者や家族は多く、一人ひとりのニーズに届く支援が不足していると感じ、質問しました。

近年、ひきこもり状態が若い世代から高年齢世代に渡り長期化していることから、国は生活困窮者自立支援法を改正し、ひきこもりにかかわる支援を困窮者支援として位置付けました。それを契機として、府中市ではひきこもりにかかわる相談の窓口を一本化し、若者についての相談も、生活援護課の「暮らしとしごとの相談コーナー」で受けることになっています。

相談内容について聞いたところ、あくまで家計や就労などの課題解決の支援であるため、ひきこもりを主訴とした相談は極めて少ないことが分かりました。ひきこもり状態の若者がいる家庭では、就労が目的ではなく、社会参加や人とのつながりを求めている人が多く、府中市の支援体制では、当事者や家族の悩みに十分に対応できているとは言えません。

神奈川県座間市では、今年、いつでも誰でも利用できる「フリースペース」を開設しました。当事者が社会に一歩踏み出せる場所、安心していられる場所として、相談にも随時対応しています。

支援を必要としている当事者や家族の実態を把握し、安心して出向ける居場所をつくり、自立と社会参加につながっていける体制づくりを求めました。

## 電柱に水害時の浸水の想定水位が表示されました が・・・

生活者ネットワークは水害時の想定水位や避難所についての掲示を求めてきました。今年、市内300か所の電柱に、想定水位を表す数字と波のマークが掲示されました。一見マークの位置が水位のように思えますが、水位を示す数字とマークの高さは一致していません。

電柱には規定があり、掲示物を貼る高さが制限されているためですが、**数字の方が正しい想定水位**です。これからもハザードマップを基にした防災情報の発信を市民が日常的に目にする場所にわかりやすく表示してほしいと思います。

実際の水深は
マークの位置より上
になります

## 市立公園の指定管理者制度導入に「市民協働」の視点を

9月に市立公園に指定管理者制度を導入するための条例改正が行なわれました。この方針は市民との話し合いもなくコンサルタント会社に委託されて作られたものでした。

公園の管理についてはこれまで市民協働の方針が示され、清掃ボランティアや花壇づくりなど市民参加も進んでいました。公園管理のあり方を検討する上では管理に関わる市民や団体の意見を聞きながら進めるべきです。

## コロナ禍の 2020 年度の決算に反対しました

2020 年度の事業内容や予算の使い方が9月議会で審議されました。当初予算は 1043 億円でしたが、年度初めには新型コロナウィルス感染症が拡がり、市民の不安に応えることが喫緊の行政課題となり、7 回の補正予算で345億円が増額され、最終的な決算は1388億円となりました。

高齢者や女性、若年層の困窮が顕在化したことへの対応が問われる中で、国の臨時交付金は、7割を経済支援に投入した偏った活用でした。経済支援対策としての「ふちゅチケ」の発行は、高価格の設定で、困窮者支援にはつながらないものでした。また保育や介護などの仕事をしている人への定期的な PCR 検査体制を築くための予算措置は取られませんでした。コロナ禍においてもなお「自助、共助」や「受益者負担」を強いて、公助を減らす「行財政改革」を進めました。

感染防止、経済支援、生活支援対策のいずれにも配慮した独自施策に乏しく、生活者ネットワークの求めてきた施策とは相反するため、2020 年度の決算認定に反対しました。

男女共同参画市民企画講座

## 「コロナ禍で少女たちに何が起きているのか～人権を尊重した性教育を考える～」 に参加しました。

講師：染矢 明日香さん（NPO 法人ピルコン理事長）

NPO 法人ピルコン（2013 年設立）ではジェンダー平等や性の多様性を含む人権尊重を基盤とした「包括的性教育」普及のための研修や情報発信などを実践しています。また性や妊娠の悩みを誰にも相談できずに苦しむ若者の支援も行なっています。

コロナ禍による休校期間中には相談が約2倍に急増したそうですが、その背景には、親との関係の難しさから居場所がなくなったり、性暴力やデート DV などもあるとのことでした。

日本の性教育は国際的に大きく遅れています。ユネスコの国際セクシュアリティ教育ガイダンスには、互いの心とからだを尊重しながら、自分で選択ができる『性的自己決定力』を育むための子ども・若者を対象としたカリキュラムが示されています。幼いころからの適切な性教育は性行動を慎重化させてリスクを減らし、自己肯定感を上げるといわれています。

インターネットによる性情報の氾濫や性被害が広がっている昨今、子ども、若者だけでなく、周囲の大人も、「包括的性教育」を学び正しい知識と判断力を育むことが必要だと思いました。

（報告 奥村さち子）

## わくわくまちづくりトーク

**議会報告とまちづくりについての意見交換の会です。**

日時：10月29日（金）19：00～

会場：府中市市民活動センター プラッツ 第6会議室

●参加ご希望の方は、生活者ネットワークのホームページ、もしくはお電話にてお申し込みください。

●問い合わせ、申し込み TEL 042（360）4443

※zoom での参加をご希望の方はホームページからお申し込みください。

ホームページ： https://fuchu.seikatsusha.me/